

今年度も「海外技術研修」を受け入れました！

関東森林管理局森林技術・支援センター

「持続可能な森林経営を実践するためのプログラム策定とその実施強化を図るため、基準・指標に基づく森林資源等のモニタリングの実施、森林計画の立案及び参加型手法に基づいた提案書作成に係る知識及び技術を習得させる。」研修目的で、約2ヶ月半余りの研修期間中の**平成27年9月29日**に当センターを訪れました。

一貫作業システム実証試験地 &センター研修室で・・・



一貫作業システム実証試験地では、高性能林業機械及びコンテナ苗について質問があり、特にコンテナの形状・容量等について関心があり、たくさん質問等を受けました。



筑波山複層林試験地で・・・



筑波山複層林では、上層木が下層木に与える光の関係について熱心に質問等していました。



世界9カ国(カメルーン、コンゴ民主共和国、ラオス、マラウイ、ミャンマー、パプアニューギニア、スワジランド、東ティモール、エチオピア)の研修生(11名)のみなさま

最後に研修生の代表から、

「業務ご多忙の中、この研修を実施するにあたり貴重な機会を提供していただき、さらに惜しみなくご教授、ご指導していただいたことに深く感謝申し上げます。ご教授いただいた知見を基に、自分の国・職場や現場において現状の改善をはかり、自国の適切な森林の管理及び森林減少・劣化の抑制に努めるためのアクションプランを作成・活かしたい。」

と挨拶をいただき、無事センターでの研修を終了しました。